

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	1037	1590	百日咳	0	1
RSウイルス感染症	27	43	ヘルパンギーナ	4	2
咽頭結膜熱	25	33	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	6	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	80	109	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	696	836	流行性角結膜炎(はやり目)	9	16
水痘	94	104	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	21	24	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	1	1	マイコプラズマ肺炎	1	2
突発性発しん	40	27	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- 水痘

- インフルエンザは、報告数 1,037件(前週報告数 1,590件)と減少。地区別では、人吉、天草、八代に多く報告がみられます。年齢別では、10~14歳の131件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 696件(前週報告数 836件)と減少。地区別では、山鹿、菊池、水俣に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の105件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 94件(前週報告数 104件)と減少。地区別では、宇城、八代、人吉に多く報告がみられます。年齢別では2歳の29件を最多に主に8歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	254	8	6	38	178	22	3	1	19			3		8				
山鹿保健所	47				89	1	1		2				*	*				
菊池保健所	125	9	8	27	100	4	5		7					1				
阿蘇保健所	30				15	1							*	*				
御船保健所	13				13								*	*				
八代保健所	124	2			55	16	3		2									
水俣保健所	31	1			37	5			1				*	*				
人吉保健所	117	2		4	35	12			2				*	*				
有明保健所	63	3	2	1	76	12	6		2									
宇城保健所	102	2	8	5	40	17			2			1	*	*				
天草保健所	131		1	5	58	4	3		3		4	2					1	
計	1037	27	25	80	696	94	21	1	40	0	4	6	0	9	0	0	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上
インフルエンザ	1037	4	22	50	60	71	62	72	49	44	46	46	131	40	51	106	65	44	31	15	28
小児科定点年齢	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	27	4	10	9	4																
咽頭結膜熱	25		1	9	4	5	2	1					1		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	80		1		5	9	12	11	13	5	3	7	12		2						
感染性胃腸炎	696	8	39	105	70	46	46	61	41	24	28	33	92	25	78						
水痘	94	5	7	20	29	11	8	3	4	5	1		1								
手足口病	21		1	9	4	5	2														
伝染性紅斑	1			1																	
突発性発しん	40	1	22	16	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	4			1	1							2									
流行性耳下腺炎	6			1	2			2	1												
眼科定点年齢区分	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	9														1	2	2	1	1	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	1																	1			
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 山鹿、菊池、宇城、天草
- 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池
- 咽頭結膜熱 : 菊池
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 菊池

**インフルエンザ
感染性胃腸炎
引き続き
警戒が必要!!**



【インフルエンザ、感染性胃腸炎、引き続き警戒が必要】

今週の報告数は、県全体では2週続けて減少しました。しかし、地域ごとでは人吉地域では9週連続で増加、また阿蘇、八代地域では再び増加しています。一方、山鹿、菊池、宇城、天草の警戒レベルは継続中です。今後も引き続き、感染予防と拡大防止に努めてください。

◆インフルエンザを予防するために

- ①手洗い・うがいを習慣づける
- ②流行時には人混みを避ける
- ③栄養、休養、睡眠を十分に取る
- ④部屋の換気と保湿に心がける

◆インフルエンザにかかったら

- ①早めに医療機関を受診し治療を受ける
- ②学校や職場へは無理して行かない
- ③水分を十分に補給する
- ④咳エチケットを心がけ、外出を控える

今週の感染性胃腸炎の報告数は6週ぶりに減少しましたが、集団施設での発生報告は続いています。また、地域別では、有明、山鹿、菊池の3地域が警戒レベルにあり、今後も警戒が必要で、原因としてはロタウイルスによるものが増えています。様々な原因により何度も感染性胃腸炎にかかることがあります。ノロウイルス同様、患者の便や嘔吐物の適正な処理、食事前やトイレ後の手洗いなど、感染予防対策を徹底しましょう。